

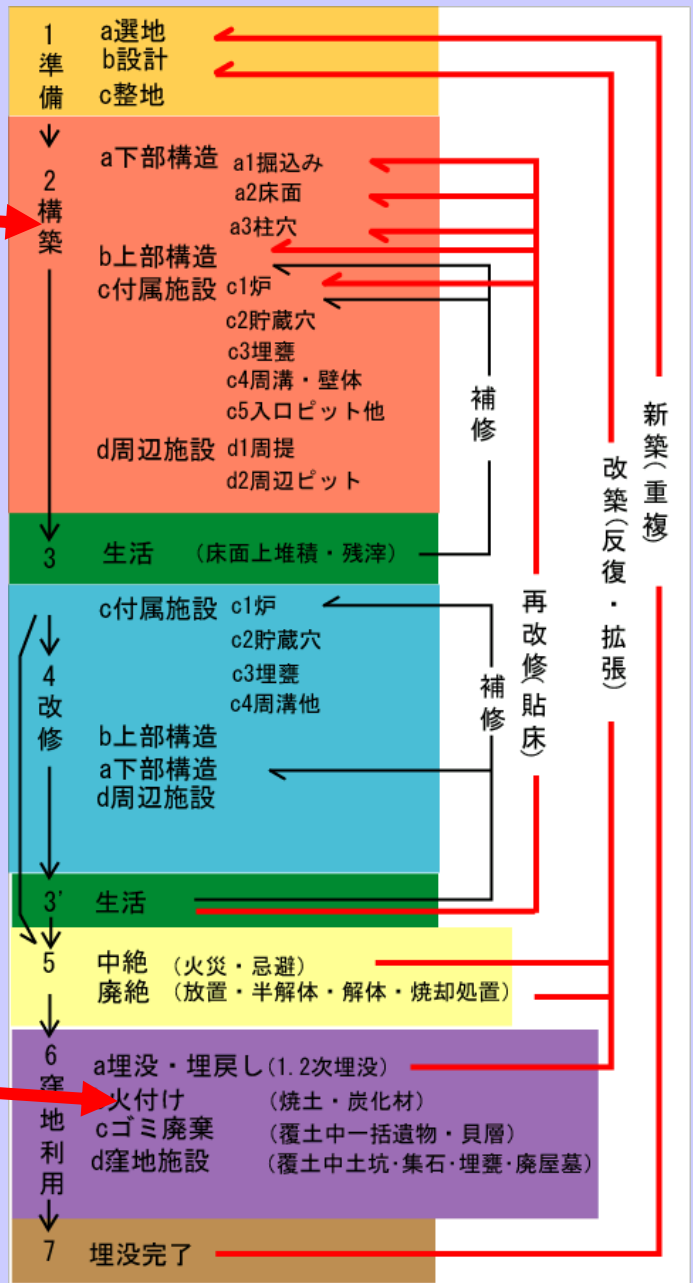
日本先史時代竪穴住居の炭素14年代測定研究

○小林謙一（中央大学・国立歴史民俗博物館）

- 筆者は、日本先史時代の年代測定研究を進める中で（小林2004ほか）、竪穴住居跡など遺構の構築・使用・廃棄・埋没に関わる時間的整理（ライフサイクル）を、炭素14年代を利用して検討してきた。

住居のライフサイクル

- **a住居構築時の時間**・・・火災住居などの構築材の多数の年代測定
(常呂河口遺跡15住例)
- **b住居生活時の時間**・・・床面・貯蔵穴・炉内出土試料や埋設土器付着物(聖石遺跡例)
- **c住居作り直しの時間**・・・作り直し重複している住居に伴う試料の測定(大橋遺跡例)
- **d1住居廃絶後の廃棄行為の時間**・住居覆土貝層の年代測定(水子貝塚例)
- **d2住居跡地埋没の時間**・・・廃絶された住居跡地が平地になる時間
(井出上ノ原遺跡例)



住居のライフサイクル(小林1994に加筆)

- a 住居構築時の状況
- 2008年度文化財科学会では、「日本先史時代火災住居構築材複数試料の炭素14年代測定」として、火災住居の構築材では縄文と弥生/古墳との差異を予測した。

縄文時代の例

- 臼尻小学校遺跡例（縄文時代後期ホツケマ式）。ほぼ一致した測定値を示し、同一の時期の所産である可能性を示している。
- 今回は、常呂河口遺跡15住例を検討。

1. 常呂町常呂河口15住



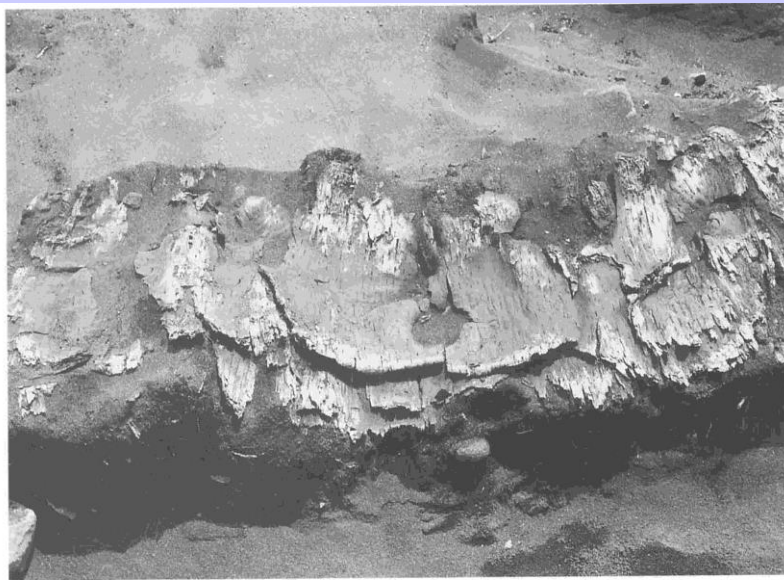
15号竪穴遺物等出土状況



15号竪穴完掘状況

北海道常呂川河口遺跡 15住
オホーツク期の住居壁材

常呂河口15住 測定試料 壁材・樹皮・木釘

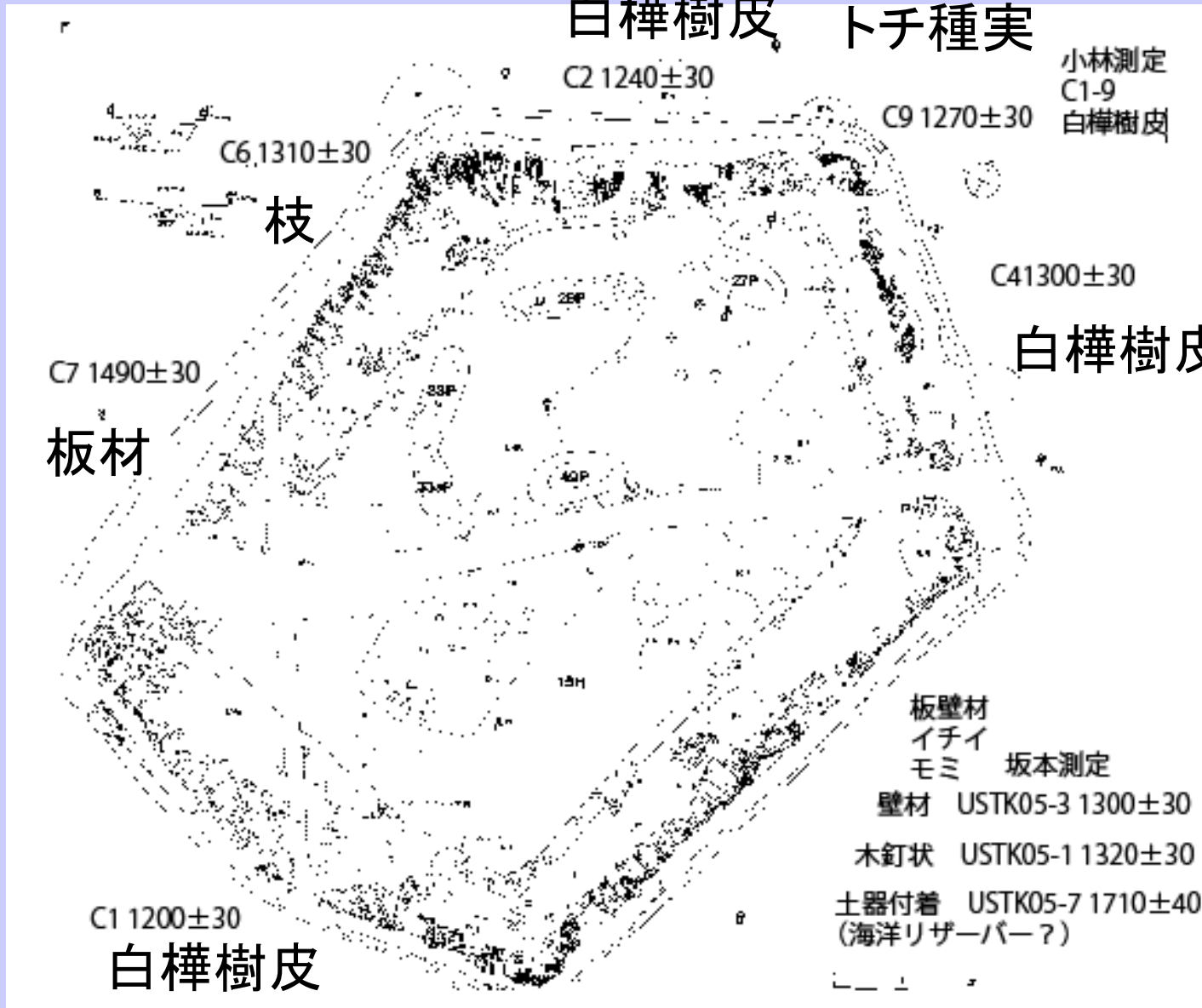


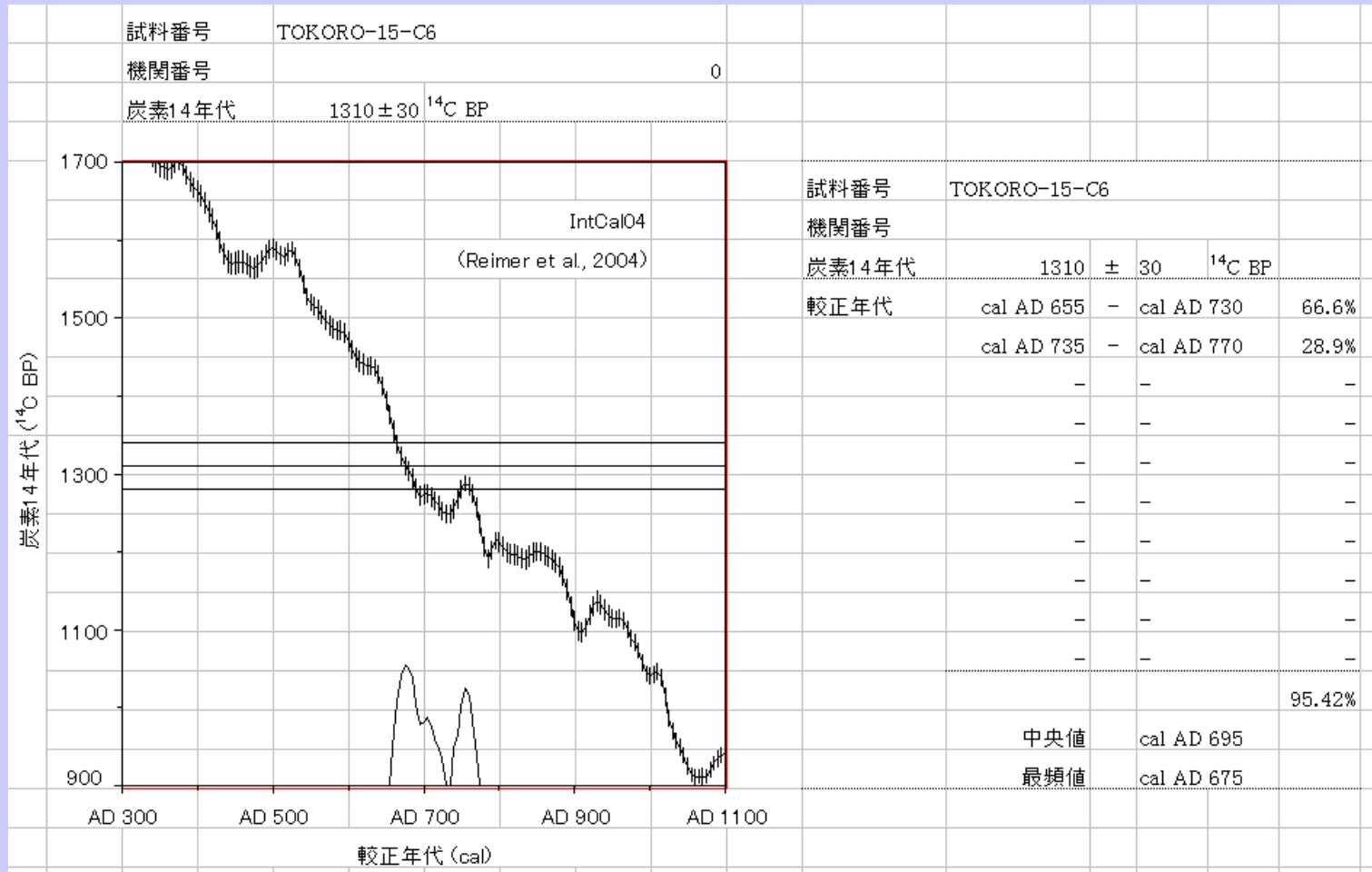
1. 15号竪穴樹皮検出状況

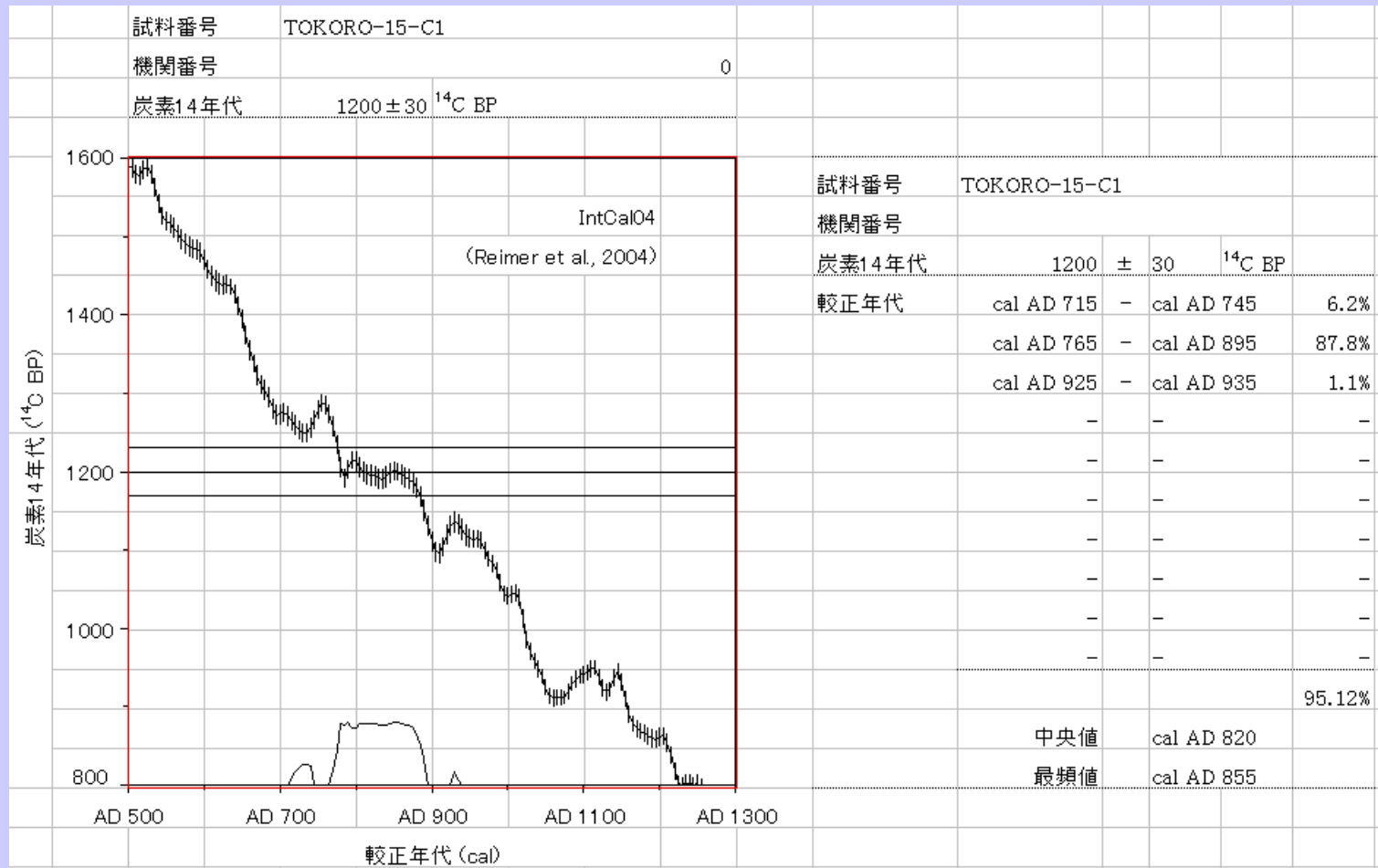


2. 15号竪穴樹皮と木釘検出状況

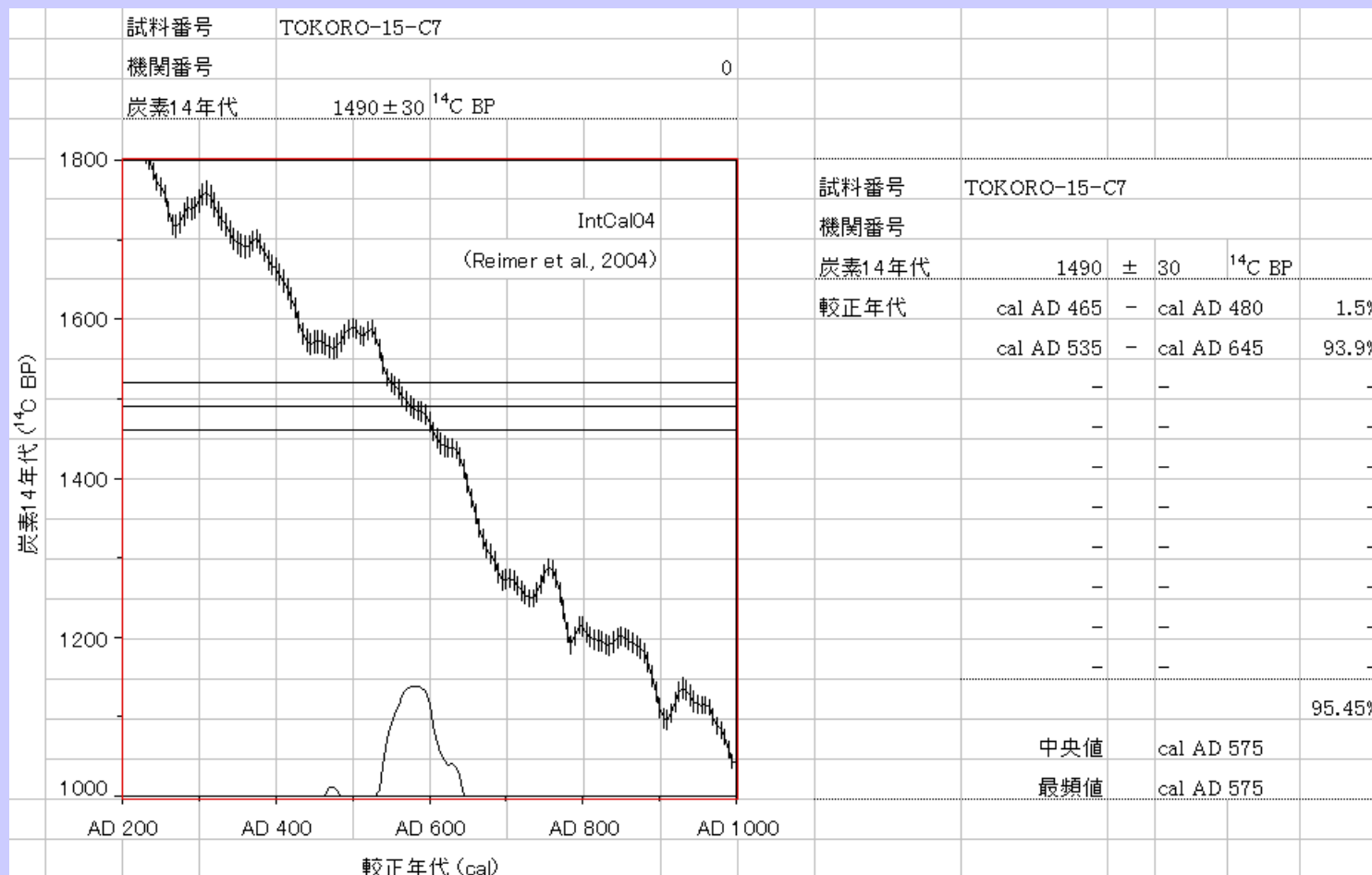
白樺樹皮 トチ種実







南壁樹皮はやや新しい？



西壁南部板材はあきらかに古い



枝

↓1310 BP

板材

↓1490 BP

壁材

古材の利用か？

白樺樹皮

↓1240 BP

トチ種実

↓1270 BP

白樺樹皮

↓1300 BP

↓1200 BP

白樺樹皮

入口近くの壁
後から補修か？

15号墓穴発掘状況

1. 福島県井出上ノ原





3号住居跡 全体

年代測定用炭化物を全点記録



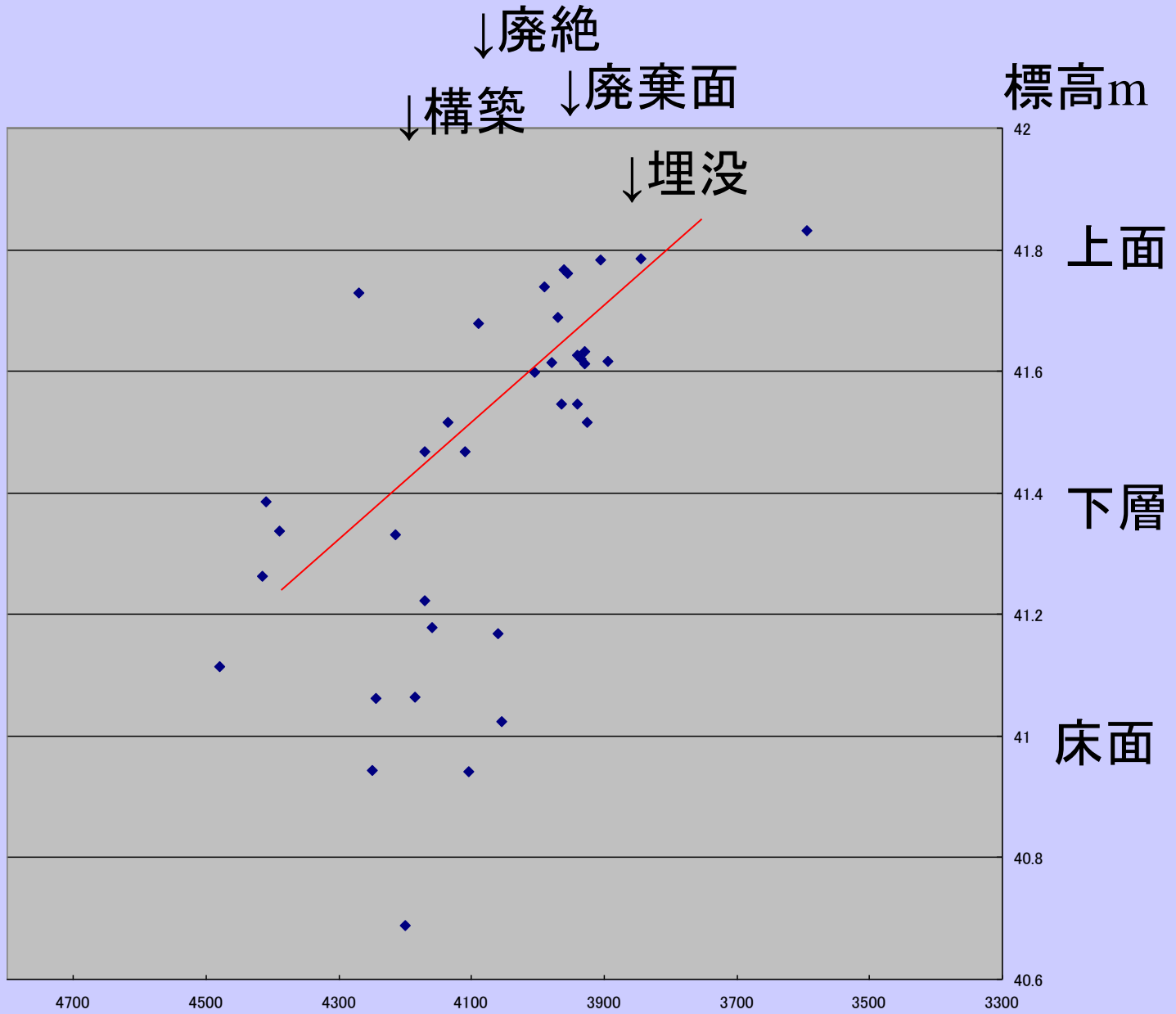
セクション面より

炉内より

HKNR	30	41.763	170	35	MTC-09116	SK101近世	
HKNR	471	471	41.761	3955	40	MTC-09117	3住1b層
HKNR	552	552	41.613	3930	40	MTC-09118	3住1a層
HKNR	815	815	41.515	4135	40	MTC-09119	SK101
HKNR	881	881	41.738	3990	40	MTC-09120	3住1b層
HKNR-C	6	1060	41.729	4270	100	MTC-08743	SK101
HKNR-C	5	1064	41.766	3960	80	MTC-08741	SK101
HKNR-C	4	1096	41.678	4090	110	MTC-08739	3住2a層
HKNR	1237	1237	41.599	4005	40	MTC-09121	3住2a層
HKNR	1671	1671	41.627	3940	40	MTC-09122	3住2a層
HKNR	1720	1720	41.467	4110	35	MTC-09123	3住2a層・クルミ
HKNR	2101	2101	41.468	4170	60	MTC-09124	3住3c層
HKNR-C	7	2132	41.338	4390	120	MTC-08745	3住3c層
HKNR	2190	2190	41.385	4410	40	MTC-09125	3住3c層
HKNR	2201	2201	41.332	4215	40	MTC-09126	3住3c層・クルミ
HKNR	4758	4758	41.168	4060	20	PLD-9879	3住3b層
HKNR-C	4806	4806	41.062	4245	35	MTC-11282	3住柱状サンプルAcut8,3e層
HKNR	4834	4834	41.516	3925	20	PLD-9880	3住2a層
HKNR-C	4928	4928	41.546	3940	35	MTC-11283	3住1b層下部
HKNR-C	4951	4951	41.614	3980	35	MTC-11284	3住3a層
HKNR-C	4980	4980	41.633	3930	35	MTC-11285	3住3a層
HKNR-C	4986	4986	41.688	3970	35	MTC-11286	3住1b層
HKNR-C	5091	5091	41.547	3965	35	MTC-11287	3住2a層
HKNR-C	5380	5380	41.783	3905	35	MTC-11288	3住2b層
HKNR	5405	5405	41.786	3845	25	PLD-9882	SK101-1層
HKNR	5451	5451	41.114	4480	25	PLD-9881	3住炉燃烧部横床
HKNR	5646	5646	41.063	4185	25	PLD-9883	3住燃烧部
HKNR	5791	5791	40.942	4105	25	PLD-9885	前庭部
HKNR	5836	5836	40.689	4200	25	PLD-9886	前庭部ビット内3層
HKNR-C	6049	6049	40.944	4250	60	MTC-11289	3住床
HKNR	6054	6054	41.024	4055	25	PLD-9887	Pit3
HKNR-C	6066	6066	41.222	4170	35	MTC-11290	3住Pit6
HKNR	6069	6069	41.178	4160	25	PLD-9888	Pit8
HKNR	6076	6076	41.263	4415	25	PLD-9889	壁溝内
HKNR	6089	6089	41.616	3895	25	PLD-9890	覆土中3号焼土内
HKNR-C	6090	6090	41.621	3935	35	MTC-11291	3住セク1c-2a層上面
HKNR-C	6166	6166	41.832	3595	35	MTC-11292	SK101-1層
HKNR	5648	5648	40.734	195	20	PLD-9884	石敷部底面

38測定
うち3住関係
37測定

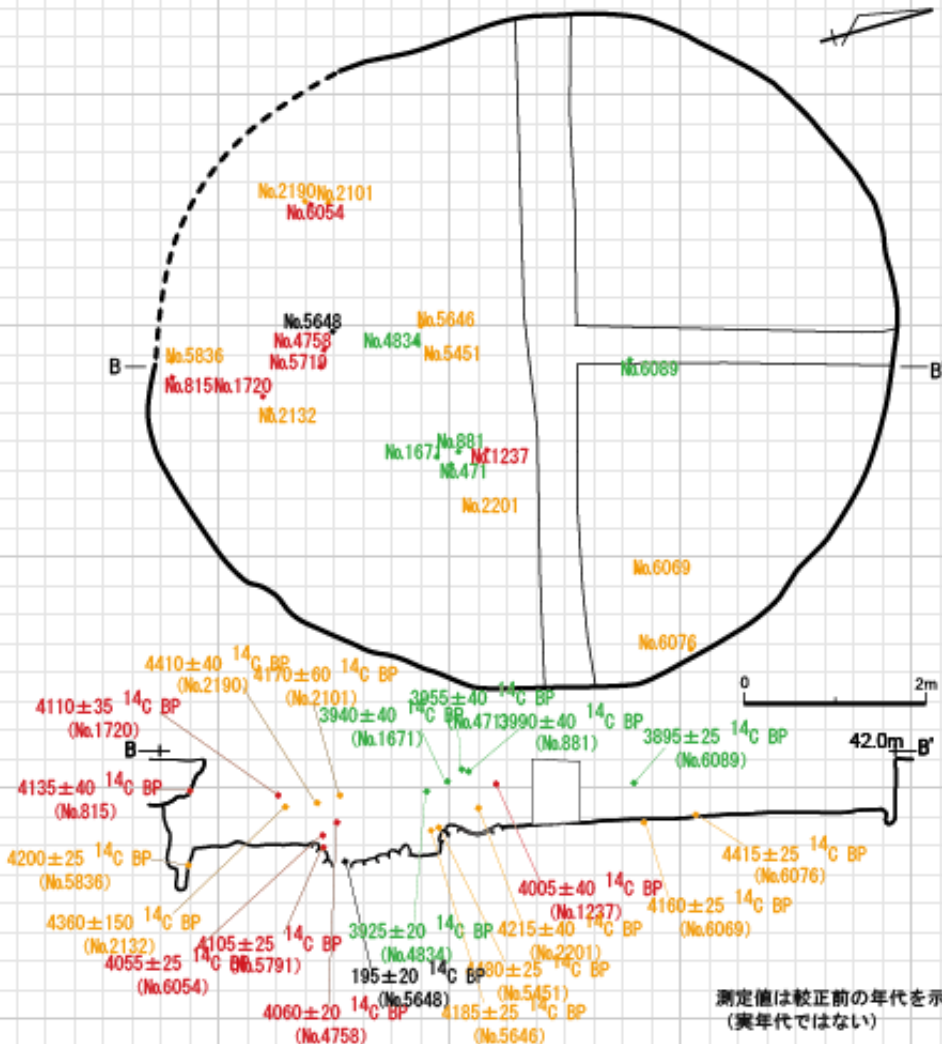
うち1点は
150年前の混入
(植物による
攪乱か?)



14C BP

d 住居廃絶後の時間

井出上ノ原遺跡45号住居跡では、住居跡の埋没過程復元のため現時点で21点の出土炭化物について炭素14年代測定を行っている。その結果によれば、下層の堆積年代が約4200～4100 ^{14}C BP、中層が約4100～4000 ^{14}C BP、上層が約3950～3900 ^{14}C BPと、300年以上かかって埋没している。



45号住居跡 年代測定炭化物分布・測定結果



45号住居跡 土層断面 (南北の南半分)

まとめ

- 常呂河口15住 →構築時の材の準備
古材の利用
→使用時の補修？
- 井出上ノ原遺跡 →廃棄後の状況
下層－短期間の埋め戻し
上層－300年にわたるゴミ捨て
- 竪穴住居ライフサイクルの各分節に関わる
試料の14C年代測定研究により、縄文集落
の時間経過を復元していくことが可能。